（別紙様式４）

平成28年8月1日現在

職業実践専門課程の基本情報について

学　校　名	設置認可年月日	校 長 名	所　　在　　地
愛知ペット専門学校	平成20年2月22日	牧　　良	〒444-0813　愛知県岡崎市羽根町鰻池246-1 （電話）0564-57-8139
設 置 者 名	**設立認可年月日**	**代 表 者 名**	**所　　在　　地**
学校法人 アイピーシー学園	平成20年2月22日	牧　　良	〒444-0813　愛知県岡崎市羽根町鰻池246-1 （電話）0564-57-8139

目的	ドッグトレーナー科は、ペット産業等の社会に広く貢献しうる有能な人材として、 主に犬の訓練業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。

分野	課程名	学科名	修業年限（昼、夜別）	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養	文化・教養専門課程	ドッグ トレーナー科	2年（昼）	１８５５単位時間 （又は７０単位）	平成21年文部科学大臣告示第86号	－

教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	２５５単位時間 （又は１７単位）	７５単位時間 （又は５単位）	単位時間 （又は単位）	１５２５単位時間 （又は４８単位）	単位時間 （又は単位）

生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	３０人	１人	４人	５人

学期制度	■２学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表（有・無） ■成績評価の基準・方法について 各学期末に行う試験、実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して行う
長期休み	■夏　　季：8月13日～8月15日 ■冬　　季：12月31日～1月3日	卒業・進級条件	2年の修業年限以上の在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者
生徒指導	■クラス担任制（有・無） ■長期欠席者への指導等の対応 主に担任による電話連絡又は家庭訪問	課外活動	■課外活動の種類 毎年テレビ愛知主催のふれあいイベントに協力、本年度も学生の研修等の場として参加を予定している ■サークル活動（有・無）
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率※1 75% ■卒業者に占める就職者の割合※2 75% ■その他（任意） （平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報）	主な資格・検定	愛玩動物飼養管理士1～2級 損害保険募集人 家庭動物販売士3級 ペットシッター士資格 日本動物専門学校協会（NAVA） ドッグトレーナー IPC協会認定推奨ライセンス各種

中途退学の現状	■中途退学者　1名　　■中退率　3.2% 平成　27年　5月　1日在学者　　31名（平成　27年　4月入学者を含む） 平成　28年　3月　31日在学者　　29名（平成　28年　3月卒業生を含む） ※1年次前期末で転科を認める場合があり、上記年度は1名が転出した。 ■中途退学の主な理由 結婚・出産 ■中退防止のための取組 随時面談を実施、オリエンテーション又はレクリエーション等の開催
ホームページ	URL:　http://aichipet.com/?p=2032

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（１年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料，賃金，報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが，家事手伝い，臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

１．教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

近年ペット産業を取り巻く分野において、めまぐるしく変化し、且つ進化し続ける市場を背景に、学校教育法（第１２４条）における「専修学校の目的」に鑑み、その専門分野において市場が求める実践的な知識・技術・技能を充分に認知するべく本学科が目指す職業教育に関連した企業と組織的に連携して必要十分な授業科目を創設していくこととし、またその実施に当たっては、当該専門課程の教育にふさわしい授業方法への改善・工夫を行った上で教育課程を編成することとする。

（連携企業）ドッグスクールを経営する株式会社アイピーシー

・「教育課程編成委員会」の教育課程の編成方針に基づき各学科は独創的な授業構成を実現し、また授業実施においては時間数、評価方法等が客観性をもって実施されるよう調製をする。

・これまでの学内での実習に付加し、連携企業の事業所内等またはより多くの協力企業先での実務研修を実習とした内容を編成する他、学内においても業界・地域産業振興に知見を有する人材による実践経験に基づく情報をいかした講義等を編成する。

・知識の享受のみを目的とせず、学生主体で擬似的に事業運営を実践させ、職業経験として体験できるような授業編成を工夫する。

・現状の情報にとどまらず、時代背景や先見の念をもちながら業界の新たな探究課題を発掘し、その課題を探究し、実社会に提言できるような教育改革に随時着手していく。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成 26 年 4 月 1 日現在

名　前	所　　属
牧　　良	愛知ペット専門学校　学校長
岩本　英司	株式会社アイピーシー　営業部部長
脇田　亮治	一般社団法人全国ペット協会　専務理事
栗田　晶子	愛知ペット専門学校　教務主任兼ドッグトレーナー科科長
細川　綾子	愛知ペット専門学校　ペットトリマー科科長
芳賀　美咲	愛知ペット専門学校　動物看護科科長
北風　孝広	愛知ペット専門学校　教務主任補佐兼ペットアドバイザー科科長
伊藤　麻希	株式会社アイピーシー　名古屋事業部ペットサロン店長
中島　美沙紀	株式会社アイピーシー　わんわん動物園主任
宇野　哲安	有限会社宇野獣医科　院長
大槻　祐介	株式会社アイピーシー　事業管理部次長

（開催日時）

平成 26 年度第 1 回　平成 26 年 8 月 28 日　13：30～14：30
平成 26 年度第 2 回　平成 27 年 3 月 26 日　14：00～15：00
平成 27 年度第 1 回　平成 27 年 8 月 20 日　14：00～15：00
平成 27 年度第 2 回　平成 28 年 3 月 24 日　14：00～15：00
平成 28 年度第 1 回　平成 28 年 8 月 25 日　14：00～15：00
平成 28 年度第 2 回　平成 29 年 3 月 23 日　14：00～15：00（予定）

２．主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

ペット産業界が求める知識及び技能を的確に反映すると共に、社会人としての基礎能力の向上を重視した教育を行う為、積極的に企業等へ学習活動の協力を求め、より実践的な専門性の確保を目的として学習機会（企業内実習、企業参加の学内実習活動等）を設定する。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
インターンシップ	連携する企業であるわんわん動物園やペット美容室等で実務研修を行う。	株式会社アイピーシー
飼育管理実習Ⅰ	わんわん動物園が保有する多種・多頭数の生体の飼育管理能力と専門的技術の基礎力を増強する。	株式会社アイピーシー
動物飼育実習Ⅰ	わんわん動物園から生体提供を受けた担当犬に対する衛生管理を動物園業務と直結した指導教育に取り組む。	株式会社アイピーシー
動物飼育実習Ⅱ	今の時代にあった展示動物の管理について、お客様の視線を意識した日常のケア等を通じて生体を扱う基礎力を養う。	株式会社アイピーシー
動物飼育実習Ⅲ	1 頭 1 頭の担当犬に対し、日常のケア、体重コントロール、備品管理の 3 項目に対し、実務レベルでの管理能力育成を目指す。	株式会社アイピーシー
訓練実習Ⅲ-1 オビディエンス	基本服従訓練から遠隔操作など	株式会社アイピーシー
訓練実習Ⅲ-2 パフォーマンス	まわれ、股くぐり歩行などの一芸項目を実際に教えていき、ドッグダンスの構成からショーテクニックを実践する	株式会社アイピーシー
専科選択実習	しつけ教室、等	株式会社アイピーシー
能力開発実習	災害救助犬育成、介助犬育成など	株式会社アイピーシー

３．教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

「研修委員会」を設置し、最低でも年 2 回会合を実施することを規定に定め、最新のペット業界の動向等を把握し、必要な研修等を計画、実施する。例えば、本学科においては犬のしつけ訓練に関わる最新の行動学的知識や補助用品などの商品知識、また探知犬・補助犬などの使役犬に関わる知識等を得るため、積極的に勉強会や研修を実施する。

【校内集合研修】社会人教育

・社会人研修、特に新人を対象とした内容を実施することにより、キャリアの長短に関わらず、全教職員が教育者としての視点を改め、再認識することを目的とする。

・ビジネススキル・マナー、コンプライアンス統制、個人情報、CS 向上、危機管理、マネジメント、営業・経営、法務等、月に一度程度年間を通して実施する。

【校外研修】「いぬの学校」実務研修

株式会社アイピーシー動物園事業部と連携し、「いぬの学校」授業運営スタッフとして実務研修を行う。

【校外研修】わんわんイベントおよびわんわんステージ運営の実地演習を行う。

株式会社アイピーシー動物園事業部と連携し、わんわんイベント等の実地演習を行う。

【校内・外研修】IPC グループ訓練協議会

IPC グループのドッグトレーナー科担当講師と合同で、授業運営や学生指導要領などを協議する。

４．学校関係者評価

（学校関係者評価委員会の全委員の名簿）

平成26年4月1日現在

名　前	所　　属
牧　　良	愛知ペット専門学校　学校長
岩本　英司	株式会社アイピーシー　営業部部長
栗田　晶子	愛知ペット専門学校　教務主任兼ドッグトレーナー科科長
細川　綾子	愛知ペット専門学校　ペットトリマー科科長
芳賀　美咲	愛知ペット専門学校　動物看護科科長
北風　孝広	愛知ペット専門学校　教務主任補佐兼ペットアドバイザー科科長
伊藤　麻希	株式会社アイピーシー　名古屋事業部ペットサロン店長
中島　美沙紀	株式会社アイピーシー　わんわん動物園主任
宇野　哲安	有限会社宇野獣医科　院長
大槻　祐介	株式会社アイピーシー　事業管理部次長

（学校関係者評価結果の公表方法）

URL: http://aichipet.com/wp-content/uploads/2016/05/2016.hyouka.pdf

５．情報提供

（情報提供の方法）

URL: http://aichipet.com/wp-content/uploads/2016/07/guideline.pdf

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程ドッグトレーナー学科）平成２８年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ペット一般教養Ⅰ	就職セミナー（業界の就活事情、社会人としての心構え、履歴書の書き方、自己分析の方法等）	1後	15	1	○		
○			特別活動Ⅰ	スクールフェスティバルや校外学習等を通じて、協調性や課題発見力等を養う。	1通	60	2			○
○			共通基礎	犬との接し方や犬具等道具の扱い方等、犬を扱う上で必要となる基本的な習性や生理等について学ぶ。	1前	60	2	△		○
○			各科実習	所属する部科に関わらず、ペット美容、しつけ訓練、動物看護、飼育繁殖の基礎を学ぶ。	1前	60	2	△		○
○			動物形態機能学Ⅰ	主に犬猫を中心に動物の体の構造、筋骨格系等の機能を理解する。さらに解剖学用語を習得し生命現象を理解する。	1前	30	2	○		
○			病原体・衛生管理	病原体になりうる微生物の感染予防法を理解し、動物の健康維持に努める。	1通	30	2	○		
○			動物健康管理	健常な犬猫に必要な日常ケアと適正飼育法について理解し、個体に合った適正飼育に努めるよう飼主指導に活かす。	1前	15	1	○		
○			動物医療関連法規Ⅰ	動物愛護及び管理に関する法律における責務と規制事項を理解し、動物福祉と人との共生の観点から関連法を学ぶ。	1前	15	1	○		
○			動物行動学Ⅰ	犬猫の基本的な行動様式と学習方法について学ぶ。 また、犬種および猫種よる違いを学ぶ。	1前	45	3	○		
合計				科目	単位時間（　　単位）					

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程ドッグトレーナー学科）平成２８年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			飼養管理学Ⅰ	伴侶動物となり得るエキゾチックアニマルの生理と生態から適正飼育法及び主な疾病について理解する。	1後	15	1	○		
○			専科実習	犬の訓練に必要な人の歩き方、「賞罰」の与え方等訓練士としての基本動作を実践して習得する。	1通	270	9	△		○
○			インターンシップ	連携する企業であるわんわん動物園やペット美容室等で実務研修を行う。	1通	30	1			○
○			飼育管理実習Ⅰ	わんわん動物園が保有する多種・多頭数の生体の飼育管理能力と専門的技術の基礎力を増強する。	1通	90	3			○
○			動物飼育実習Ⅰ	わんわん動物園から生体提供を受けた担当犬に対する衛生管理を動物園業務と直結した指導教育に取り組む。	1前	45	1			○
○			動物飼育実習Ⅱ	今の時代にあった展示動物の管理について、お客様の視線を意識した日常のケア等を通じて生体を扱う基礎力を養う。	1前	90	2			○
○			動物飼育実習Ⅲ	1頭1頭の担当犬に対し、日常のケア、体重コントロール、備品管理の3項目に対し、実務レベルでの管理能力育成を目指す。	1後	90	2			○
○			ペット一般教養Ⅱ	就職セミナー、社会人準備、経営組織等についての概説	2通	30	2	○		
○			特別活動Ⅱ	主な学校行事である球技大会、スクールフェスティバル、ゼミ発表会、校外イベント活動等の企画運営又は協力。	2通	60	2			○
合計				科目		単位時間（　　単位）				

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程ドッグトレーナー学科）平成２８年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ゼミナール	卒業研究を通じてプレゼンテーションスキルを身につけ、表現力向上を図る。	2通	30	2		○	
○			課題研究	卒業研究及び卒業論文の作成	2通	45	3		○	
○			高等訓練学	臭気項目、介助項目、ドッグダンス、ディスクドッグおよびアジリティの4系統の高等訓練を学ぶ	2通	15	1	○		△
○			専科選択科目	犬の問題行動に対する知識を深め、顧客に対してのカウンセリング、アドバイス等の話術を学ぶ。	2通	45	3	○		△
○			犬舎実習	日常生活における犬のしつけ、健康管理、ケアなど	2通	90	3			○
○			飼育管理実習Ⅱ	連携する企業が保有する犬猫等の飼養保管等を行い、飼養技術や衛生管理能力の拡充を図る。	2通	220	7			○
○			訓練実習Ⅲ-1 オビディエンス	基本服従訓練から遠隔操作など	2通	120	4	△		○
○			訓練実習Ⅲ-2 パフォーマンス	まわれ、股くぐり歩行などの一芸項目を実際に教えていき、ドッグダンスの構成からショーテクニックを実践する	2通	90	3	△		○
○			専科選択実習	しつけ教室、等	2通	90	3	△		○
合計				科目		単位時間（　　単位）				

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程ドッグトレーナー学科）平成２８年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			能力開発実習	災害救助犬育成、介助犬育成など	2通	60	2	△		○
合計				２８科目	１８５５単位時間（７０単位）					